

【子宮頸癌登録】

日本産婦人科学会 子宮頸癌登録実施要領（2005年）をもとにptregで登録フォームを実装した。

Encounterとして子宮頸癌登録を設定した。このEncounter内に「子宮頸癌患者登録フォーム」と「子宮頸癌3年・5年予後報告」の調査項目をそれぞれFormとして実装した（図2）。

< EncountersとForms >

Name	Variables	Delete
子宮頸癌患者登録フォーム	16	
子宮頸癌3年・5年予後報告	2	

図2：EncountersとFormsの構成

< FormとVariables >

各Form内における登録項目

(Variables)のデータ型には、[Text]、[TextArea]、[Number(Interger)]、[Number(Real)]、[Date]、[Radio Button]、[Checkbox]、[Drop-Down]が

準備されている。これらのデータ型を用いて子宮頸癌登録の各項目を設定した。

各登録項目の実装内容とそれに対応する入力画面（プレビュー）を図3～図4、図5～図6に示した。



図 3 : 「子宮頸癌患者登録フォーム」項目のFormへの実装

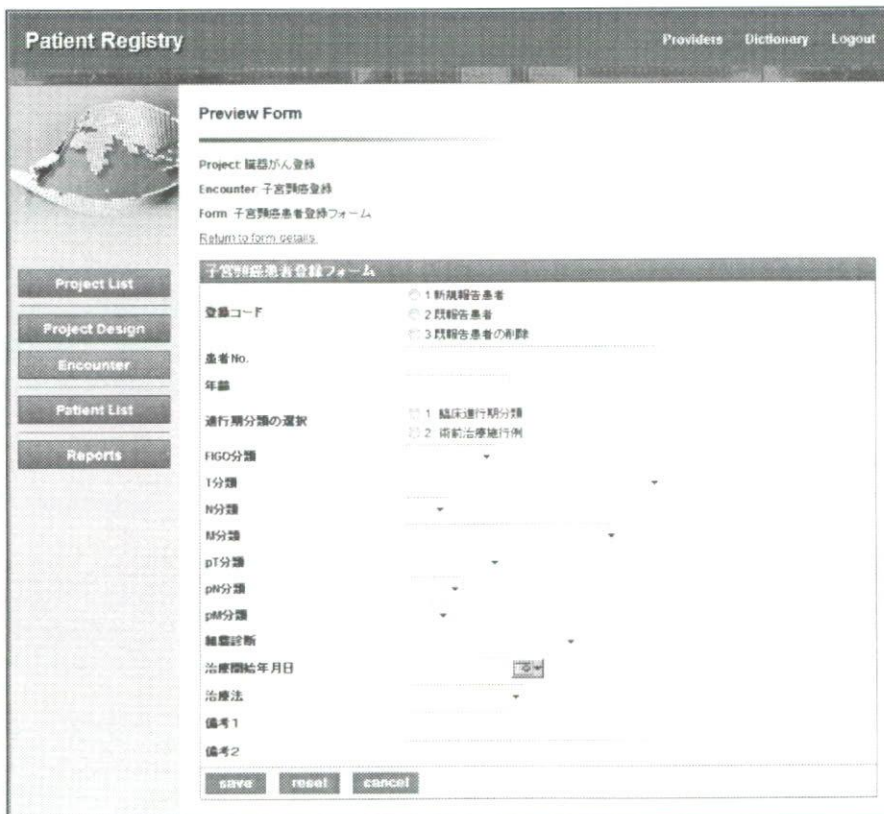


図 5 : 「子宮頸癌患者登録フォーム」Formのプレビュー画面

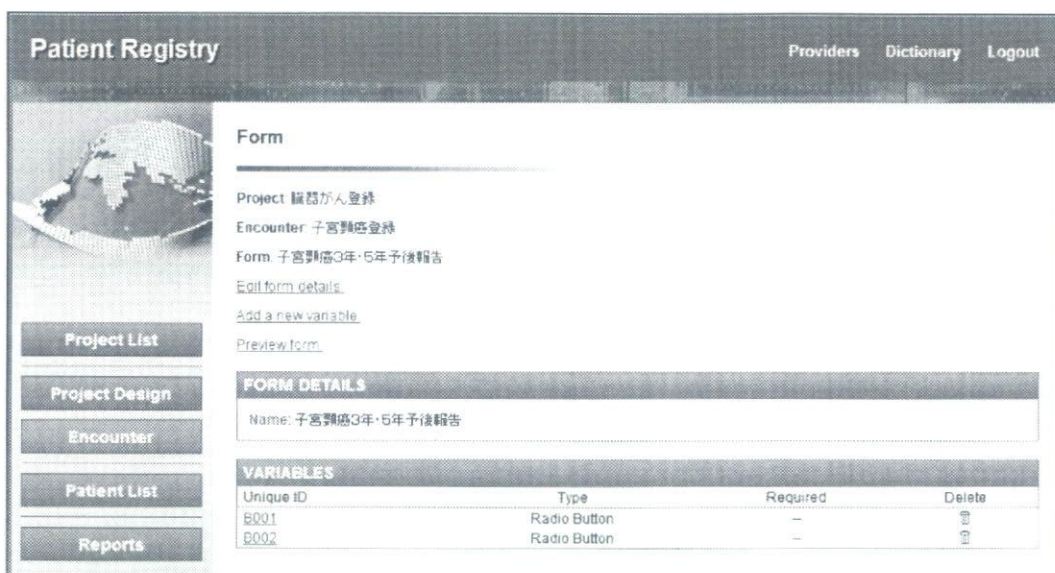


図4：「子宮頸癌3年・5年予後報告」項目のFormへの実装

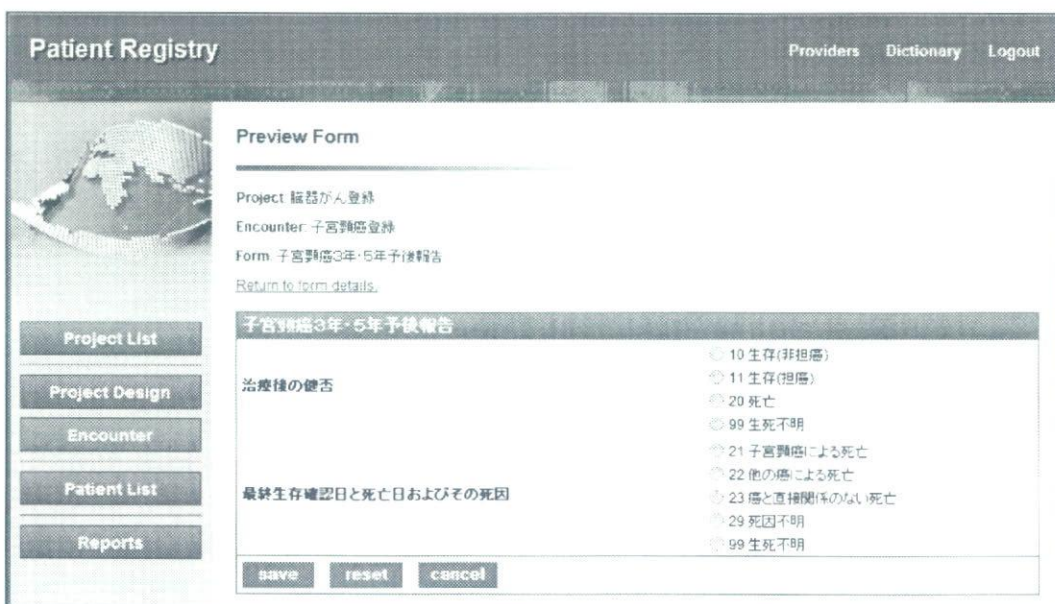


図6：「子宮頸癌3年・5年予後報告」Formのプレビュー画面

子宮頸癌登録では、登録項目及びそのデータ型が指定されているため困難なくptregでフォームを容易に実装可能であった。進行期分類、TNM分類に

ついては、Drop-downコントロールを使用してFormを実装したが、利便性の点からはこれらの選択を支援する機能が望ましいと考えられる。

【子宮体癌登録】

日本産婦人科学会 子宮体癌登録実施要領（2005年）をもとにptregで登録フォームを実装した。

Encounterとして子宮体癌登録を設定した。このEncounter内に「子宮体癌患者登録フォーム」と「子宮体癌3年・5年予後報告」の調査項目をそれぞれFormとして実装した（図7）。

< EncountersとForms >

The screenshot shows the 'Patient Registry' interface. On the left is a navigation menu with buttons for 'Project List', 'Project Design', 'Patient List', and 'Reports'. The main content area is titled 'Encounter' and displays the following information:

- Project: 臓器がん登録
- Encounter: 子宮体癌登録
- Links: [Edit encounter details.](#), [Add a new form.](#)

Below this is the 'ENCOUNTER DETAILS' section:

- Name: 子宮体癌登録
- Arm: (all arms)
- Timing: Manually assign on day of event.

At the bottom is the 'FORMS' table:

Name	Variables	Delete
子宮体癌患者登録フォーム	13	會
子宮体癌3年・5年予後報告	2	會

図7：EncountersとFormsの構成

< FormとVariables >

各Form内における登録項目 (Variables) の各種データ型を用いて子宮体癌登録の各項目を設定した。

各登録項目の実装内容とそれに対応する入力画面（プレビュー）を図8～図9、図10～図11に示した。



図 8 : 「子宮体癌患者登録フォーム」項目のFormへの実装



図 10 : 「子宮体癌患者登録フォーム」Formのプレビュー画面

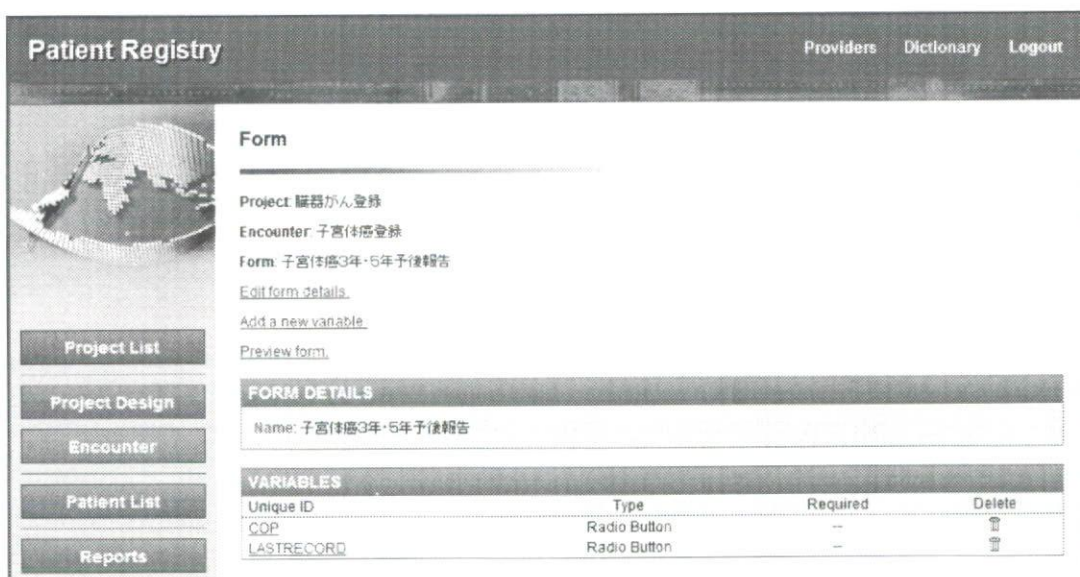


図 9 : 「子宮体癌 3 年・5 年予後報告」 項目のFormへの実装



図 1 1 : 「子宮体癌 3 年・5 年予後報告」 Formのプレビュー画面

子宮体癌登録では、子宮頸癌登録と同様に登録項目及びそのデータ型が指

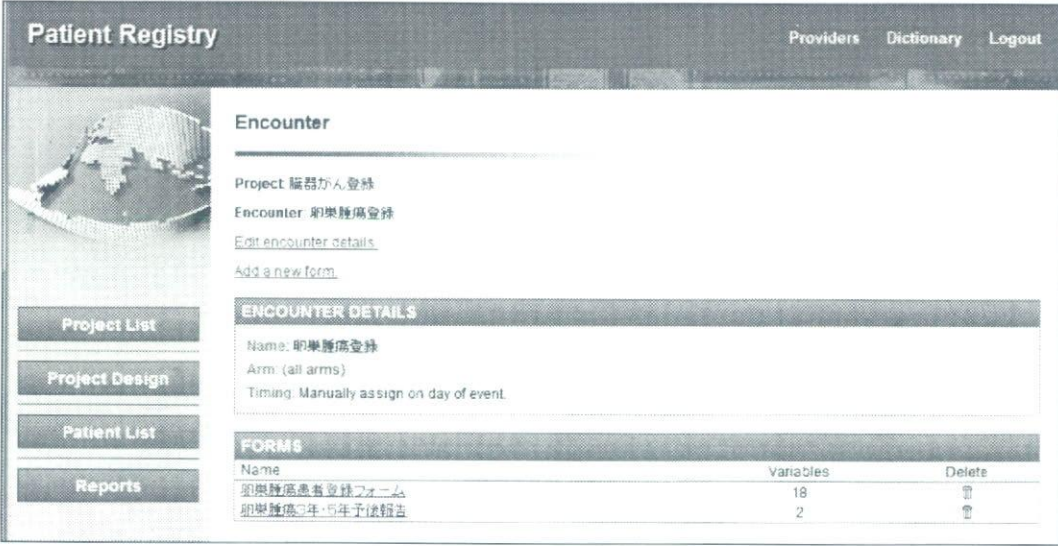
定されているため困難なくptregでフォームを容易に実装可能であった。

【卵巣腫瘍登録】

日本産婦人科学会 卵巣腫瘍登録実施要領（2005年）をもとにptregで登録フォームを実装した。

Encounterとして卵巣腫瘍登録を設定した。このEncounter内に「卵巣腫瘍患者登録フォーム」と「卵巣腫瘍3年・5年予後報告」の調査項目をそれぞれFormとして実装した（図12）。

< EncountersとForms >



The screenshot shows the 'Patient Registry' interface. On the left is a navigation menu with buttons for 'Project List', 'Project Design', 'Patient List', and 'Reports'. The main content area is titled 'Encounter' and includes the following information:

- Project:** 臓器がん登録
- Encounter:** 卵巣腫瘍登録
- [Edit encounter details](#)
- [Add a new form](#)

Below this is the 'ENCOUNTER DETAILS' section:

- Name:** 卵巣腫瘍登録
- Arm:** (all arms)
- Timing:** Manually assign on day of event.

At the bottom is the 'FORMS' table:

Name	Variables	Delete
卵巣腫瘍患者登録フォーム	18	🗑️
卵巣腫瘍3年・5年予後報告	2	🗑️

図12：EncountersとFormsの構成

< FormとVariables >

各Form内における登録項目（Variables）の各種データ型を用いて卵巣腫瘍登録の各項目を設定した。

各登録項目の実装内容とそれに対応する入力画面（プレビュー）を図13～図14、図15～図16に示した。



図 1 3 : 「卵巣腫瘍患者登録フォーム」項目のFormへの実装



図 1 5 : 「卵巣腫瘍患者登録フォーム」Formのプレビュー画面

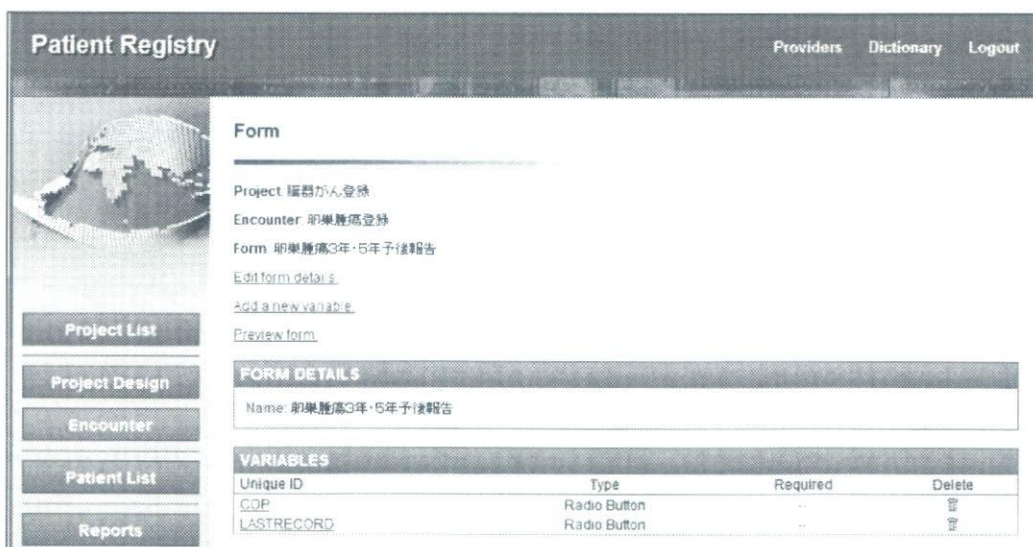


図 1 4 : 「卵巣腫瘍 3 年・5 年予後報告」項目のFormへの実装



図 1 6 : 「卵巣腫瘍 3 年・5 年予後報告」Formのプレビュー画面

卵巣腫瘍登録においても、前述の子宮頸癌登録や子宮体癌登録と同様に登録項目及びそのデータ型が指定され

ているため困難なくptregでフォームを容易に実装可能であった。

D. 考察

子宮頸癌登録、子宮体癌登録、卵巣腫瘍登録の各登録内容をptregでフォームデザイン、各項目内容、データ型を設定した。登録様式に記載されている項目については、全て実装することができた。

ptregでの登録機能の課題としては、進行期分類やTNM分類など各登録事業に固有のデータを入力する際にそれに応じた利便性の高いユーザーインターフェイスを提供することが困難な点である。

子宮頸癌登録、子宮体癌登録、卵巣腫瘍登録は、同一学会が作成しているためデータ構造に類似点があり、これらの項目を纏めたユーザーインターフェイスの提供も可能であり、一施設に一システムの導入を想定しているptregが他のシステムに比較して優位となると考えられる。

ptregの利点としては、各登録事業の項目の違いや経時的な収集項目の変化と関係なく登録項目を一元的に

管理できる点である。本研究の実装においても、子宮頸癌登録、子宮体癌登録、卵巣腫瘍登録と異なる登録事業のデータを一つのデータベースで扱えることが示された。また、患者基本情報など各事業に共通して収集されるデータの共有や項目名が異なるが同一内容の項目同士のマッピングについてもptregのデータ構造では可能となる。

E. 結論

臓器がん登録（子宮頸癌登録、子宮体癌登録、卵巣腫瘍登録）の各登録事業で使用されている調査票の登録項目とその定義に記載されている内容についてptreg上のフォーム作成機能を使用してフォームデザイン、各項目内容、データ型を設定した。これら各登録事業の全項目を設定することが可能であることを示すことができた。汎用登録ソフトウェアの利点としては、異なる登録事業の登録項目、経時的に発生する登録項目の変更、院内がん登

録や地域がん登録などの他の登録様式へのマッピングが可能であり、これら全てのデータを一元的に管理できる点である。

F. 健康危険情報

総括研究報告書に記入

G. 研究発表

1. 論文発表

Sada A, Katayama Y, Yamamoto K, Okuyama S, Nakata H, Shimada H, Oshimi K, Mori M, Matsui T; Japanese Elderly Leukemia and Lymphoma Study Group. A multicenter analysis of the FIP1L1-alphaPDGFR fusion gene in Japanese idiopathic hypereosinophilic syndrome: an aberrant splicing skipping the alphaPDGFR exon 12. *Ann Hematol.* 2007 Dec;86(12):855-63.

Hashimoto R, Toda T, Tsutsumi H, Ohta M, Mori M. Abnormal N-glycosylation of the immunoglobulin G kappa chain in a multiple myeloma patient with crystalglobulinemia: case report. *Int J Hematol.* 2007 Apr;85(3):203-6.

2. 学会発表

石塚賢治、太田雅嗣、松井利充、原田芳己、村山徹、田村和夫、森真由美。本邦におけ

る高齢者白血病、悪性リンパ腫の実態。第69回日本血液学会 2007/10/11. 横浜市

H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

1. 特許取得

特になし

2. 実用新案登録

特になし

3. その他

特になし

Ⅲ. 研究成果の刊行に関する一覧表

雑誌

平成18年度

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
澤 智博	電子カルテ導入の功罪.	マルホ整形外科セミナー	179(1773)	29-31	2006
Sawa T.	Mean operating room times differ by 50% among hospitals in different countries for laparoscopic cholecystectomy and lung lobectomy.	J Anesth.	20(4)	319-22	2006
山口直人	データベースの整備－基礎研究・臨床研究, がんの本質にせまる.	総合臨床	55	416-418	2006
山口直人	がん予防研究に関する最新情報とその活用.	公衆衛生	71	22-26	2007
山口直人	特集)がんの実態把握とがん情報の発信:Minds・診療ガイドライン.	癌の臨床	52	507-512	2006
Mori M.	Clinical features of polycythemia vera and essential thrombocythemia in Japan: Retrospective analysis of a nationwide survey by the Japanese Elderly Leukemia and Lymphoma Study Group.	Inter J Hematol	83	443-449	2006
Asamura H.	How should the TNM staging system for lung cancer be revised? A simulation based on the Japanese Lung Cancer Registry populations.	J Thorac Cardiovasc Surg.	132	316-9	2006

平成19年度

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
山口直人	がん予防研究に関する最新情報とその活用	公衆衛生	71	22-26	2007
山口直人	特集)がんの実態把握とがん情報の発信:Minds・診療ガイドライン.	癌の臨床	52	507-512	2006
Asamura H.	A Japanese Lung Cancer Registry study: prognosis of 13,010 resected lung cancers.	J Thorac Oncol	1	46-52	2008

平成20年度

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Narimatsu H, Matsumura T, Morita T, Kishi Y, Yuji K, Kami M, Komatsu T, Tanaka Y, Sawa T, Nakata Y.	Detailed analysis of visitors to cancer-related web sites.	J Clin. Oncol.	26(25)	4219-4223	2008
Yoshimoto, M,	Favourable long-term results	Breast	110	485-491	2008

Nakagawa, K, et al	after surgical removal of lung metastases of breast cancer.	Cancer Res Treat			
Takeuchi, K, Nakagawa, K, et al	Multiplex reverse transcription-PCR screening for EML4-ALK fusion transcripts.	Clin Cancer Res	14	6618-6624	2008
Hiramatsu, M, Nakagawa, K, et al	Pulmonary ground-glass opacity (GGO) lesions - large size and a history of lung cancer are risk factors for growth.	J Thorac Oncol	3(11)	1245-1250	2008
Shiono, S, Nakagawa, K, et al	Disease-free interval correlates to prognosis of metastatectomy for esophageal lung metastases.	J Thorac Oncol	3	1046-1049	2008
Kunitoh, H, Nakagawa, K, et al	Phase II trial of preoperative chemoradiotherapy followed by surgical resection in patients with superior sulcus non-small-cell lung cancers: report of a Japan Clinical Oncology Group trial 9806.	J Clin Oncol	26	644-649	2008
山口直人, 吉田雅博, 佐藤康仁	胃癌－基礎・臨床研究のアップデート 特論 胃がん治療ガイドラインの患者・家族向け情報提供について	日本臨床	66(5)	663- 668	2008
佐藤康仁, 吉田雅博, 山口直人	診療ガイドラインおよび関連する医療情報を提供する Minds システムの利用に影響する因子.	医療情報学	28(1)	39-46	2008

IV. 研究成果の刊行物・別刷

病院プロフィールについて

貴院についてお教えてください。

尚、ご回答頂きました内容につきましては、本調査以外の目的に使用することはありません。

本研究班では、症例登録システムの開発を行っています。開発したソフトウェアの無料配布を含め、ご希望の施設には、有益な情報を配信させていただきます。

【ご担当者・連絡先】

ご担当者氏名

ご担当者連絡先

部署名

電話番号

e-mail

【施設名】

【所在地】

都道府県

郵便番号

住所

【病床数】

一般病床

床

一般病床以外の病床

床

【開設者】

(該当項目の()内に○を付けてください)

■ 国

- 厚生労働省 ・ 独立行政法人国立病院機構 ・ 国立大学法人
 独立行政法人労働者健康福祉機構 ・ その他

■ 公的医療機関

- 都道府県 ・ 市町村 ・ 日赤 ・ 済生会 ・ 北海道社会事業協会
 厚生連 ・ 国民健康保険団体連合会

■ 社会保険関係団体

- 全国社会保険協会連合会 ・ 厚生年金事業振興団 ・ 船員保険会
 健康保険組合及びその連合会 ・ 共済組合及びその連合会
 国民健康保険組合

■ 法人等

- 公益法人 ・ 医療法人 ・ 学校法人 ・ 社会福祉法人
 医療生協 ・ 会社 ・ その他の法人 ・ 個人

【がん診療】

(該当項目に○をつけてください)

がん診療を行っている はい ・ いいえ

がん治療を行っている はい ・ いいえ

がん治療を行っている場合、治療の種類に○をつけて下さい。

- 化学療法 ・ 免疫療法・BRM ・ 内分泌療法
 放射線療法
 外科的治療・体腔鏡的治療
 内視鏡的治療

緩和ケアを行っている はい ・ いいえ

緩和ケア病棟を有する はい (病床数_____床) ・ いいえ

病院情報システムについて

貴院にて病院情報システム（オーダーリングシステム・電子カルテ等のコンピュータシステム）を運用・導入されている場合、本アンケート末尾（病院情報システム調査票）に導入状況をお教えてください。

がん登録について

貴院でのがん登録についてお教えてください。

【臓器がん登録(各学会によるがん登録)】

- 臓器がん登録に参加している。(該当項目に○をつけて下さい)

はい ・ いいえ ・ 各診療科が担当しているため不明

- 臓器がん登録に参加している場合、臓器がん登録の種類をお教えてください。

(該当項目の()内に○をつけて下さい。複数回答可)

- | | | | |
|----------|---------------------|--------------|-----------|
| () 頭頸部 | 日本頭頸部癌学会 | () 甲状腺 | 日本甲状腺外科学会 |
| () 食道 | 日本食道学会 | () 胃 | 日本胃癌学会 |
| () 大腸 | 大腸癌研究会 | () 家族性大腸腺腫症 | 大腸癌研究会 |
| () 肝臓 | 日本肝癌研究会 | () 胆道系 | 日本胆道外科研究会 |
| () 膵臓 | 日本膵臓学会 | () 肺 | 日本肺癌学会 |
| () 骨 | 日本整形外科学会 | () 乳腺 | 日本乳癌学会 |
| () 婦人科 | 日本産科婦人科学会 | () 膀胱 | 日本泌尿器科学会 |
| () 脳腫瘍 | 日本脳神経外科学会 | () 造血器 | |
| () 小児腫瘍 | 日本小児がん学会 / 日本小児外科学会 | | |
| () その他 | 具体的に _____ | | |

【院内がん登録】

該当項目に○をつけて下さい。

- 院内がん登録を行っている。

はい (登録開始年月 _____) ・ いいえ

- 「はい」とお答えの施設にお聞きします。

- ・ がん登録の登録形式をお教えてください。(該当項目の()内に○をつけて下さい)

() 1腫瘍1登録 () 1入退院1登録

- ・ 登録対象癌腫についてお教えてください。(該当項目の()内に○をつけて下さい)

() 施設受診全癌腫(外来・入院双方含) () 入院全癌腫(入院のみ)

() 一部癌腫(外来・入院問わない) () 一部診療科受診の癌腫 () その他

一部癌腫のみを登録対象としている場合の癌腫名・診療科についてお教えてください。

- ・ 次の項目の内、登録対象となるものをお教えてください。(該当項目の()内に○をつけて下さい。複数回答可)

() 良性腫瘍 () 他院にて既に診断されている患者 () 再発症例

() 治療のみで受診の患者

- ・ 予後調査を実施している

はい (具体的方法 _____ 調査頻度 _____) ・ いいえ

(【院内がん登録】次頁につづく)

【院内がん登録】(前頁からのつづき)

■ 「いいえ」とお答えの施設にお聞きします。

- ・ 院内がん登録を実施する予定がある。

はい(開始予定年月 _____) ・ いいえ ・ 未定

- ・ 院内がん登録を実施していない理由をお教えてください。(該当項目の()内に○をつけて下さい。複数回答可)

() 院内がん登録の存在を知らなかった

() 院内がん登録による利点が見出せない

() 病院内での意見調整ができていない

() 院内がん登録を実施するに十分な知識がない

() 院内がん登録を実施するに十分な人的資源(人員・組織構成)が確保できない

() 院内がん登録システムの予算(導入・保守)が確保できない

() 院内がん登録を実施するに十分な予算(システム以外)が確保できない

() その他 具体的に_____